

2017（平成29）年度 福岡県立大学社会福祉学会 第9回大会

大会開催のご案内

大会テーマ

「権利擁護の視点から家族支援を考える」

開催のご挨拶

第9回の福岡県立大学社会福祉学会のご案内をさせていただきます。

昨年の学会のアンケートで、今後学会が取り上げるテーマとして「権利擁護」を希望する声が多かったことから、今回の企画を考えました。日本でも2000年以降、虐待問題が大きく取り上げられるようになり、改めて虐待に追い込まれる家族を如何に社会的に支援するかが大きな課題になっています。

そこで今回は、施設内虐待の問題ではなく、家庭の中で起こる子どもへの虐待、障害者への虐待、高齢者への虐待等を取り上げ、権利擁護の視点から如何に家族を支援していくか、そのための社会的協働について総合的に検討する企画としました。

基調講演では、弁護士として、子どもの権利、女性の権利、高齢者の権利等に関拓的に取り組まれてきた岩城和代氏を講師としてお招きすることができました。

続いて、「権利擁護の視点から家族支援を考える」をテーマにシンポジウムを開催します。児童福祉分野、障害者福祉分野、高齢者福祉分野を家族支援の観点から横断的に考えようとする挑戦的な試みです。それぞれの分野の背景にある制度体系はずいぶん異なります。問題へのアプローチの仕方にも違いがあります。果たしてどこまで、問題を総合的に考えることができるか、困難があろうとは思いますが、問題を家族任せにしない社会的協働を如何に構築するか、分野や所属や専門職種を超えた連携と連帯を志向します。

総会では、学会の在り方について新提案を行い、学会の企画に院生、在學生も参与できるようにしたいと考えています。多くの学会員、卒業生、院生、在學生が集い、交流を深めることができることを祈念し、開催の挨拶とさせていただきます。

2018年1月吉日

福岡県立大学社会福祉学会 会長 細井 勇

福岡県立大学社会福祉学会 第9回大会 開催要項

I. 大会内容について

1. 大会テーマ : 「権利擁護の視点から家族支援を考える」
2. 日 時 : 2018年3月3日(土) 13:00~18:00 (12:30 受付開始)
3. 会 場 : 福岡県立大学 大講義室
(田川市伊田 4395 TEL: 0947-42-2118)
4. プログラム
 - 13:00~13:10 開会式 柴田 洋三郎 (福岡県立大学長)
細井 勇 (学会会長、福岡県立大学 教授)
 - 13:10~14:30 基調講演 (リカレントセミナー)
「権利擁護の視点から家族支援を考える」
講師: 岩城 和代 先生
(岩城法律事務所 弁護士・社会福祉士)
 - 14:40~17:00 シンポジウム
「権利擁護の視点から家族支援を考える」
【シンポジスト】
椿 俊典 (福岡県久留米児童相談所 児童福祉司)
柳沢 享 (北九州市障害者基幹相談支援センター
センター長)
後藤 麻美 (篠栗町地域包括支援センター
社会福祉士)
【コーディネーター】
細井 勇 (学会会長、福岡県立大学 教授)
本郷 秀和 (福岡県立大学 教授)
今村 浩司 (学会副会長、西南女学院大学 准教授)
【コメンテーター】
岩城 和代 (岩城法律事務所 弁護士・社会福祉士)
 - 17:00~17:10 閉会式
 - 17:20~18:00 総会
 - 18:30~20:30 懇親会 会場: 稚加栄
(田川市番田町 6-23 TEL: 0947-42-1245)

Ⅱ. 基調講演について

◆ 講師 ◆

岩城 和代 先生

◆ プロフィール ◆

略歴

1969（S44）年3月 九州大学法学部卒業

1972（S47）年8月 福岡市にて弁護士開業、以後現在に至る。

【福岡県弁護士会の福祉関係の略歴】

1996（H8）年

福岡県弁護士会 「知的障害者の支援のあり方に関する研究会」会長

2000（H12）年～2006（H18）年

福岡県弁護士会 「高齢者・障害者委員会」委員長

【その他の略歴で、福祉関係の現職のみいくつか記載】

- 福岡市 保健福祉審議会 副会長
- 福岡市 地域包括支援センター運営協議会 会長
- 福岡市 社会福祉協議会 成年後見運営委員会 委員長
- その他、複数の市町村社会福祉協議会の成年後見運営委員会会長
- 福岡市 障がいを理由とする差別を解消するための条例検討会議委員（任務終了）
- 日本成年後見法学会理事
- 福岡県 高齢者・障害者虐待対応チーム会員
- 多数の後見業務
（法定後見・任意後見・通常型財産管理、市町村より持ち込まれた困難事例を含む）

著書

- 信託の実務Q&A 青林書院
一部執筆
- 実践成年後見 民事法研究会
一部執筆

Ⅲ. シンポジウムについて

◆ テーマ ◆

「権利擁護の視点から家族支援を考える」

◆ 趣旨 ◆

これまで日本では、家族は福祉を担う共同体のように捉えられてきました。しかし、2000年代になると、児童、障害者、高齢者の虐待防止法が制定され、制度が虐待問題を通じて家族に介入する仕組みが整ってきました。家族は一体ではなく、家族を構成する一人ひとりの人権、生き方が尊重されるべきと認識される時代になってきたことを意味します。福祉サービスにおいて「個別的な支援計画」がキーワードになっています。虐待される子ども、障害者、高齢者等の一人ひとりの人権を擁護すると同時に、虐待に追い込まれる親や養護者を社会的支援への権利を有するものとして捉え、如何に社会的に支援するかが大きな課題となっています。

例えば、虐待防止法制は、分野別にありますが、現実の家族は、認知症の高齢者を介護するようになった親が退職を選択することを余議なくされ、経済的困難ななかで、子どもないし障害児を養育している、など、二重、三重の困難を抱えている家族があり、虐待として認知されることなく孤立している家族があるのではないのでしょうか。家族による自己解決を強いる家族主義的な傾向が依然日本社会には根深くあります。虐待が虐待として認識されない、不正が不正として認識されず社会的に放置されているという問題が、家族の中に、また職場の中に多く存在しています。

以上の考え方から、今回のシンポジウムでは、分野横断的に「権利擁護の視点から家族支援を考える」ことにしました。より具体的には、①各制度を最大限活かすためにとくにどのようなことに留意すべきなのか、②二重、三重の困難を抱えた家族への支援、そのための分野を超えた専門職連携をいかに図るのか、③さらに、立場を超え、脱家族主義化に向けた社会的協働を志向すること、そのために何が求められ、また、いかなる場が必要となるのか、等の諸問題を話し合っていければと願っています。

【シンポジスト】

椿 俊典（福岡県久留米児童相談所 児童福祉司）

柳沢 享（北九州市障害者基幹相談支援センター センター長）

後藤 麻美（篠栗町地域包括支援センター 社会福祉士）

【コーディネーター】

細井 勇（学会会長、福岡県立大学 教授）

本郷 秀和（福岡県立大学 教授）

今村 浩司（学会副会長、西南女学院大学 准教授）

【コメンテーター】

岩城 和代（岩城法律事務所 弁護士・社会福祉士）

※敬称略

IV. 学会参加費及び懇親会参加費

	会 員	非会員	大学院生	学 生
学会参加費	1000 円	2000 円	1000 円	500 円
懇親会費	4000 円		2000 円	

V. 参加申し込み方法

基調講演及びシンポジウムにご参加の方は、別紙 1 の「参加申込書」に必要事項を記入の上、2月23日（金）までに、FAX または E-mail にてお申し込みください。

FAX 番号：0947-42-1491（社会福祉学科直通）

E-mail：k-hata@fukuoka-pu.ac.jp（社会福祉学科 畑）

◆ ご質問等ございましたら、下記連絡先までお問い合わせください。

福岡県立大学社会福祉学会第9回大会 事務局

福岡県立大学人間社会学部社会福祉学科

福岡県田川市伊田 4395 番地

TEL：0947-42-2118（代表） FAX：0947-42-1491

事務局長 河野 高志 kohno@fukuoka-pu.ac.jp

事務局 畑 香理 k-hata@fukuoka-pu.ac.jp

(別紙1)

FAX : 0947-42-1491

福岡県立大学社会福祉学科行

福岡県立大学リカレントセミナー及び社会福祉学会第9回大会

参加申込書

名前 _____

住所 _____

所属 _____

卒業年度 (福岡県立大学卒業生の方のみ) : _____

TEL: _____

E-mail: _____

※ ご提供いただきました「個人情報」につきましては、本学会以外の目的では使用いたしません。

①基調講演 (参加費無料)

《 参加する ・ 参加しない 》

②シンポジウム (参加費が必要です : 学会員 1000 円、非学会員 2000 円 大学院生 1000 円、学部生 500 円)

《 参加する ・ 参加しない 》

③懇親会 (参加費 4000 円、大学院生・学部生の方は 2000 円)

《 参加する ・ 参加しない 》

④その他、学会へのご要望等がございましたらお書き下さい。

2月23日(金) 締切